



平成23年2月23日

各位

上場会社名 東海物産株式会社
 代表者 代表取締役社長 大倉 偉作
 (コード番号 8071)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 笹川 剛
 (TEL 052-261-3211)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年9月27日に公表した平成23年3月期通期の業績予想及び平成22年4月28日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,000	750	780	430	40.20
今回発表予想(B)	36,500	840	850	470	43.94
増減額(B-A)	1,500	90	70	40	
増減率(%)	4.3	12.0	9.0	9.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	29,413	311	335	168	15.77

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	450	520	300	28.05
今回発表予想(B)	27,500	550	630	340	31.78
増減額(B-A)	3,500	100	110	40	
増減率(%)	14.6	22.2	21.2	13.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	22,228	186	236	91	8.53

修正の理由

当社グループの属するエレクトロニクス業界は、アジアを中心とした新興国の景気回復や国内での景気対策などを背景に好調に推移しました。このような環境の中、当社では自動車分野や情報通信分野での業績が堅調に推移し、工作機械・FA分野においても、中国向け設備投資を中心に業績が回復しております。また、業績回復に伴う収益の改善や構造改革の一環として進めております経費削減が寄与し、平成23年3月期の通期業績につきまして前回発表予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正するものであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年4月28日発表)	—	7.00	—	7.00	14.00
今回修正予想	—	7.00	—	8.00	15.00
当期実績	—	7.00	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	7.00	—	7.00	14.00

修正の理由

当社グループは、企業体質の一層の充実・強化を図り、業績に裏づけされた安定的且つ継続的な配当を株主の皆様へ行うことを経営の重要課題と考えております。

平成23年3月期の期末配当について、業績予想の増益見通しや利益水準を総合的に勘案した結果、期末配当予想を1株当たり7円から8円へ修正するものであります。

*上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上